

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会  
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

# HD ニュース

No. 68  
2019. 1. 15

今後の予定／於：事務所会議室

- 1月15日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会
- 1月15日(火)19:00～ 研修会
- 1月17日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 2月7日(木)18:00～ 三役会
- 2月19日(火)18:00～ 相談委員会

## 2019 年頭のご挨拶

副理事長 森 登

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は当NPOへのご支援・ご理解をいただき誠にありがとうございました。滝井理事長が、「2018年は新たな事業へ一歩を踏み出せた」と位置付けられたことを受けて、今年は各事業の「実績づくり」を進めていきますので、本年も引き続き応援・ご協力のほどよろしくお願いたします。

まず事業としては、今年も住まいのフェアに参加し、セミナーと相談会及びパネル展示をおこないます。去年はリフォーム相談の中で、パネル展示を見て「これだ!!!」と設計者を指名された相談者がいました。ネットの時代だからこそ設計者との出会いを求められているのでしょうか・・・？

次に、既存住宅状況調査技術部会では、他団体との連携のもと、調査案件の数を増やし、スキルアップを経た上で、当NPO独自の調査メニュー作りをおこないたいと思います。私たちが実施する状況調査（告示に基づいた）が、中古住宅流通の「免罪符」にならないようにする為です。



2018、春日井既存住宅現状調査の様子

そして、住まいの「かかりつけの医者」として、住み手がなくなった空家、或いは高齢独居になった住まいの「見守り」事業の可能性について去年から検討しています（全国にも同様の活動があるようです）。悪質リフォーム業者に騙されない為の予防の意味もあります。不動産・医療・介護支援など、諸団体との連携も視野に入れつつ、広報・メニュー・料金などいろいろな課題を整理する必要があります

ので、タイミングを見て皆様と協議させていただきます。

一方、会員サービスの面では、木造技術研修会・研修委員会の工夫を進めます。去年の試行を生かし、今までの座学にこだわらず、見学・研修スタイルも取り入れます。日帰りで「今ならでは・今だから」の技術・知識を見学・勉強できる場所を訪れ、必要であれば両委員会を統合することも視野に入れています。（下の写真は、2018年に実施した研修見学会です。）



向野橋トラス納まり



向野橋から名駅西を望む

次に、ホームドクターニュースです。なるべく多くの会員・賛助会員の皆様に、文章・写真にて参加していただくために、皆様からのヒヤリングを行い、それを基に原稿を起こしていく手法を取り入れてみます（試験的に）。皆様の多方面に渡る技術・知見・所見・意見などを紹介させていただきたいと思えます。三役及び事務局が担当しますのでよろしくお願い致します。

また、毎年実施している「研修旅行」については、まだ一度も参加されたことがない会員の皆様にも、是非参加いただきたいと思います。宿泊先にて夕食後のひと時を利用し、情報交換の場を設けています（ちなみに去年は7・8月の情報「ハイテンボルトが市場に無い」件について、納入見込みとその後についての情報交換でした）。仕事にお役立ていただければと思います。なお見学先については、皆様からのリクエストをお待ちしています。

マンション・ビル大規模修繕研究会、相談委員会については、総会資料をご覧ください。

以上の活動報告を、タイムリーにホームページ上にアップします。今年もホームページの随時更新は、谷川照雄さんにご尽力いただくこととなりますので、宜しくお願いします。

尚、ご意見などございましたら、事務局までお寄せください。

次の元号の時代は、どの様に流れていくのでしょうか？

住宅設計者としてきちっと見極め、役割を果していけるよう、皆様と積極的・活発な活動・議論が出来るような場づくりを目指していきます。時間調整の上、是非ご参加ください。

最後に、皆様の本来業務の御多忙をお祈りしつつ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 木造技術研究会「瓦、木材工場、木質ラーメン現場見学会」

浅井洋樹

昨年11月27日に岐阜県内の四か所を見学会に行きまわりましたのでご報告いたします。

まず一か所目は岐阜市内にある「美濃瓦協同組合」さんです。ここは一見すると一つの会社社屋・工場のように見えますが、実際は複数の瓦製造業者が同居し、工場内ではたくさんの職人さんたちが様々な種類の瓦を制作していました。主に日本家屋の瓦を対象としていて、一般住宅のみならず数多くの寺社仏閣建築の屋根瓦を制作しているそうで、カタログ記載の施工実績でも昭和46年からと歴史も古い協同組合です。



鬼瓦の削り出し工程(写真撮影は、すべて浅井さん)

工場内には瓦を造る為の多数の型があり、それらを組み合わせて大量の瓦を制作していたかと思えば、職人さんが一つ一つ手作業で彫刻作品のように削り出しを行って巨大な瓦を制作するなど、制作手法も多岐に渡っていました。

また、伝統的な「いぶし瓦」を制作する為の技法を長年研究し、独特な色の銀色被膜の作成技術も所

有していて、寺社仏閣などの屋根工事においても建物に調和した瓦が製作可能となっているとのことでした。

続いて二か所目は可児市にある「有限会社ライン工業」という会社です。ここは実はもともとプラント制作などの鉄工所なのですが、岐阜県産の木材を使った新しいラーメン構造の開発を行っていて、その構造を実践するために会社敷地内に実際にラーメン構造の建物を建てているところを見学させていた



(有)ライン工業新社屋工事中現場を見学

だきました。

このラーメン構造は、通常の 120 度の柱材 4 本を  
円形に隙間をあけて組み合わせ金物で綴り合せたも  
のを 1 セットの柱とし、この柱の隙間に集成材の梁  
を挟み込んで金物で固定しラーメン構造を形成する  
もので、開発には約八年の歳月を要し数々の破壊実  
験を行いながら試行錯誤して開発されたそうです。  
皆さんご存知のラーメン構造はすじかいやパネルな  
どの耐力要素が不要であり、開放的な空間を作るこ  
とが可能である為に、店舗やホールなど様々な用途  
に利用が可能であると思われます。また、岐阜県産  
の木材普及のために工事費のかなりの部分に対し補  
助金が出るなど、コスト的にも大きなメリットがあ  
るようです。

浅井個人の感想としては、従前からの木材業者さ  
んからの技術開発で問題となりがちな接合金物の作  
成といった点を、逆のアプローチで鉄工場から工法  
にあった金物を作成し、全体の技術開発を行うプロ  
セスには斬新なものを感じました。

現在は平屋建て・両方向 1 スパンずつのラーメン  
しか評定されていないようなのですが、今後の展開  
としては複数階・複数スパンの評定も取得すべく研  
究中とのことでした。また、本来は岐阜県の補助な  
どを受ける都合上岐阜県内でしか建てられなかった  
のですが、折衝の結果他県でも建てられるようにな  
ったとのこと、愛知県内での今後の展開にも期待  
ができます。なお、ライン工業担当の方曰く「採用  
案件募集中」とのことでした。

三か所目に行ったのは多治見市にある「モザイク  
タイルミュージアム」で、藤森照信氏の設計による  
ものですが、残念ながら時間の都合上外観をさっ  
と見る程度で、ほとんど見学することができません  
でした。今後の見学会に期待したいところです。



モザイクタイルミュージアム(設計:藤森照信、写真は HP より)

最後は東白川村にある「東白川製材協同組合」です。  
こちらは地元のヒノキなどを使った柱を主に製材し  
ており、プレカットや乾燥などを行う工場を見学さ  
せていただきました。

工場内では木材乾燥するラインが二種類あって、  
それぞれに温度の違いから背割りの有無や色合いな  
ど様々な特性があることなどのお話をいただきました。



低温乾燥機からの製品出し

また、工場そのものも岐阜県内産の木材を構造材  
として建てられた建屋が複数あり、それもかなり大  
規模なものであることに驚かされました。



東白川製材協同組合の木構造工場

昨今は出荷先が名古屋などの都市部になっている  
とのことなので、ひょっとしたらホームドクター会  
員の皆さんが手掛けた物件の中に「東白川製材協同  
組合」から出荷された材料が少なからずあるのかな、  
と想像しながら工場見学を終わりました。

■相談委員会 12/18 18:00～

電話相談報告。春日井での調査事例紹介（櫻井氏）  
既存住宅調査部会：(株)住宅安心保証の調査費用に  
ついての議論。

※桑名市内で新たに2件の既存住宅状況調査の依  
頼がありました。

終了後忘年会。

事務局より

昨年続き、「第2回伊勢・鳥羽歴史探訪と牡蠣  
食べ放題の旅」を3月2日（土）に開催します。

8:00 金山駅のイオン金山店前を出発します。

午前中は、おかげ横丁・伊勢神宮内宮散策。

昼食は、牡蠣食べ放題。午後、旧鳥羽小学校、  
鳥羽城址見学。18:00 中日ビルを見学、解散。

会費：12,000円

申し込みは、HD事務局まで。